

## 井原市教育委員会 4 月定例会会議録【公開用】

1. 招 集 令和6年4月16日(火)
2. 開 会 令和6年4月23日(火) 14時50分
3. 閉 会 令和6年4月23日(火) 16時15分
4. 会議の場所 市役所403会議室
5. 出席又は欠席した委員

出席委員	教 育 長	伊 藤 祐二郎
	教育長職務代理	藤 井 秀 彦
	委 員	奥 田 隆 夫
	委 員	西 田 友 美
	委 員	服 部 教 弘

欠席委員 なし

6. 会議に出席した職員

西村教育次長 高田参与、米本学校教育課長、  
田中生涯学習課長、岡崎教育総務課長補佐

7. 教育長が告示した議題

### 附議事項

#### 【報 告】

- 報告第 4号 井原市教育委員会職員の人事異動について
- 報告第 5号 井原市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 報告第 6号 井原市芳井公民館三原分館長の任命について
- 報告第 7号 井原市ふれあいセンター運営委員会委員の委嘱について
- 報告第 8号 井原市立平櫛田中美術館運営委員会委員の任命について
- 報告第 9号 井原市立学校における学校運営協議会の対象学校の指定について

#### 【議 案】

- 議案第 9号 井原市立学校の学校運営協議会委員の任命について

8. 傍聴者 なし

9. 議 事

#### (1) 開 会

- ・伊藤教育長が開会を宣言

それでは教育委員会4月定例会を開会いたします。

4月の人事異動により、事務局の体制に変更がございましたので、異動のありました職員の自己紹介をさせていただきます。

— 異動のあった事務局職員 自己紹介 —

それでは、次第に沿って議事を進めてまいります。

(2) 前回会議録の承認・公開について

【伊藤教育長】前回会議録の承認、公開について、事務局から説明をお願いします。

【岡崎教育総務課長補佐】前回3月定例会の会議録につきましては、既にご確認をいただいております。本会議終了後にご署名をいただきますので、よろしくお願ひします。  
なお、報告第1号、議案第3号、第4号、第5号、第8号は人事案件のため非公開としております。

【伊藤教育長】事務局から報告のあったとおり承認することとしてよろしいか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】では、そのようお願いします。

(3) 教育長の報告事項

【伊藤教育長】次に報告事項に移ります。私の方で資料を用意しておりますのでご覧いただきたいと思ひます。

— 安藤広大著「数値化の鬼」より「数字で考える」を説明。次に、井原市第7次総合計画後期基本計画の教育関係施策の成果指標を説明。 —

(4) 議 事

附議事項

【報 告】

□報告第4号 井原市教育委員会職員の人事異動について

— 教育委員会会議規則第15条第1項の規定により非公開 —  
— 全会一致で承認 —

□報告第5号 井原市公民館運営審議会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1項の規定により非公開 —  
— 全会一致で承認 —

□報告第6号 井原市芳井公民館三原分館長の任命について

— 教育委員会会議規則第15条第1項の規定により非公開 —  
— 全会一致で承認 —

□報告第7号 井原市ふれあいセンター運営委員会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1項の規定により非公開 —  
— 全会一致で承認 —

□報告第8号 井原市立平櫛田中美術館運営委員会委員の任命について

— 教育委員会会議規則第15条第1項の規定により非公開 —  
— 全会一致で承認 —

□報告第9号 井原市立学校における学校運営協議会の対象学校の指定について

【伊藤教育長】次に、報告第9号井原市立学校における学校運営協議会の対象学校の指定についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

【米本学校教育課長】それでは、報告第9号の説明をさせていただきます。

— 議案読み上げ —

【伊藤教育長】ご質問がないようですので、報告9号については、ご承認いただけますでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】報告第9号については、承認することといたしました。

【議案】

□議案第9号 井原市立学校の学校運営協議会委員の任命について

— 教育委員会会議規則第15条第1項の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

以上で議事は終了いたしました。

(5) その他

【伊藤教育長】その他として、委員のみなさんから何かございますか。

【藤井職務代理】B&G井原海洋センターのリニューアルオープンイベントでは、B&G振興財団の菅原理事長がとてもすばらしい挨拶をしてくださった。井原のひとづくりの取組をよく知ってくださっていて、言ってくさっているように感じました。

【伊藤教育長】よい挨拶をいただけたと思います。また、シドニーオリンピックの銀メダリストでもあります中村真衣理事の水泳教室もさすがだなと思いました。1時間の水泳指導で、子ども達の泳ぎが変わりました。

【奥田委員】先日、新聞で津山市のすべての市立小学校で「学年担任制」を導入することについて報じられていました。これは、教員1人によるクラス担任ではなく、複数の教員が連携して学年全体を担当するという一方で、児童側は複数の教員による多角的な指導を受けることができ、教員側は1人1人の負担の分散が図れるということで、不登校対策等、子ども達のためにもよい制度だなと思いますが、本市として将来的に導入等についてはどのように考えられていますでしょうか。

【米本学校教育課長】まず、複数担任にするというのは、メリットがあると思うのですが、小学校は単学級が多く、1学年に1人の担任のところがほとんどであるため、ペアをつくる人間がないという課題、中学校は3学級もしくは2学級に1人副担任がおり、3人で2学級みるケースも出てきて、その分担をどうするのかという課題があり、現状では市内では規模的に難しいと考えています。今後小学校に加配がついて、1学級に1.5人から2人ということになれば、当然試行してみる価値はあると思います。

次に、小学校の「教科担任制」についてです。現状の「学級担任制」では、学級担任

が、その学級の授業をほぼすべての教科を教えております。一方、「教科担任制」では、教科ごとに専任の先生が教えてくれる指導形態であり、学校規模が大きくなるほど、そのメリットも増す制度です。3学級、4学級ある規模の学校にとっても適している制度だと思います。例えば、5、6年生の算数を1人の教員がみる、国語を1人の教員がみるとなると、同じ授業を3、4回できることとなります。教材研究の数も減らせますし、負担軽減になると思います。しかしながら、市内小学校の規模は、単学級の学年が多く、「教科担任制」を導入しても、授業は1回するだけで、同じ授業をする機会はほぼなく、メリットは感じにくい状況です。授業は、1回目より2回目が、2回目よりも3回目が、ブラッシュアップされ、複数回する方が当然精度が高まり、より効果があると思います。

【奥田委員】若手とベテランとのバランスですが、ベテランには重荷になるかもわからないですが、ベテランに若手をつけて、フォローしてもらうようになるが、今、現場では単学級が増えて、若手でも1人で担任をがんばっているケースもあり、大変苦勞されていると思います。単学級でも、5、6年でペアとするなど、学校の中でフォローしあって、若手を育てていって、全体のレベルを上げることも大切だと思います。

【米本学校教育課長】委員さんがおっしゃられるように、若手教員の育成は全国的な課題となってきました。市内の小中学校においては、どうしても1校あたりの教員数が少ないという現状があるので、管理職でしっかり若手教員の見取りをしてくださいと、困っている様子がみられたら、管理職から積極的に声をかけて、OJTの活用をするなど、先手先手で困る状況になる前に、手立てをして、育ててくださいとお願いしています。ある程度規模の大きい学校になると、複数担任制とかでしていくことは、有効な手段であると考えています。現状の市内の学校規模でいうと、先ほど申し上げた形で取りまざるを得ないのかなというところでは。

【伊藤教育長】市内小学校の規模でいうと、低・中・高というスパンを相担というかたちで、3年と4年の担任が実は相担同士という運営はよくあります。学校行事でも、例えば運動会でも、規模の小さな学校では、大体低・中・高でプログラム種目が決まっているので、それを指導するときも低・中・高で、教員は若手とベテランでペアを組んでいることが多いです。もっと規模が小さくなっていくと、全職員で全児童を見ていきましょうということを校長先生が、全教員に指導されています。子ども達が誰にでも相談できる体制というのは、いるのかなと思います。

【西田委員】4年ぶりに卒業式、入学式に出席させていただいたのですが、私が気になったことといえますか、印象なのですが、姿勢がきちんと正して座ることがとてもつらい生徒さん、児童さんがいらしたり、式中に調子が悪いのではないかと思うくらい居眠りをしている生徒さん、児童さんがいたりで、式中、長時間きちんと座るのがとても難しくなっている、居眠りをする、それは規模の大きさに関わらず、小学校中学校に関わらず見受けられたので、生活習慣の乱れ、家庭環境の影響が出ているのかなと思いました。また、式中がこうした状況なので、普段の授業の様子も心配になりました。

【米本学校教育課長】多様化というのが、すごく進んだのかなという思いはあります。授業中、トイレに行かせてくださいと言われ、10年前であれば、あと10分くらい我慢しなさいと言っていたところが、今では体罰になってしまいます。式典の指導にしても、以前であれば、椅子に座ったときの足の角度は90度、足と足の間はこぶし1つ分、動くなという指導をしていたと思います。そこまで厳しくする必要あるのかといった考え方ひとつにしても、少しずつ影響しているのかなと思います。

【伊藤教育長】式典の指導の価値観は、変わってきているということと言えます。

【服部委員】学校数と言いますか、適正数を議会の議員さんなんかで議論されるといった報道を見ましたが、卒業式、入学式に行っても、ある幼稚園では、4人も入ってくれたといった声を聞くような状況です。ある議員さんとの話で、教育委員会ではどう考えているのかといったことを言われたこともありますし、新聞などで近隣市町の動向なども報じられ義務教育学校が増えたなという印象もありますし、政治的な議論になるとおもうのですが、井原市はどのような方向性になっていくのでしょうか。

【伊藤教育長】今のままの小中学校の数を維持していくというのは、現実的ではないと考えています。それをどういうスケジュールで、どのようなかたちで進めていくのかといったことは、まだ、ロードマップなどの細かいものはないのですけれども、これから検討の必要があると思っています。まずは、どういったかたちで進めるのがいいのか、例えば検討委員会を立ち上げるのであれば、どういった体制にするのかなどといったあたりをしっかりと検討していくことから始めます。

【服部委員】一方で、コミュニティスクールを進めながら、学校を中心として、まちづくりを進めようということと反する面があるので、そのあたりが難しいと思います。

【藤井職務代理】学校統廃合の話と人づくりネットワークで地元ふるさとを愛する子を育てることと、相反することも生じてきますし、難しいところがあります。

【伊藤教育長】先ほど服部委員さんがおっしゃられました、幼稚園の入園者数の急激な減少も課題かなと思います。

【伊藤教育長】ほかに事務局から何かありますか。

【岡崎教育総務課長補佐】議事録ですが、本日の附議事項のうち報告第4号から報告第8号まで、及び議案第9号は人事案件であるため、非公開の方向で作成させていただきます。なお、公開の可否については、次回定例会で承認をいただきたいと思います。

— 各担当課長から教育委員会令和6年5月行事予定表により行事予定を説明 —

— 学校教育課から学校訪問の日程調整を依頼 —

— 5月定例会を5月31日、金曜日午後3時から開催することに決定 —

(6) 閉 会

【伊藤教育長】以上を持ちまして、4月定例会を閉会とします。委員のみなさま、本日はありがとうございました。